

093

contents

周防国分寺展 -歴史と美術-

常設展

年間スケジュール

天花

TENGE

この二枚の自然の一枚を北方世界としてここにあり
西方十万余土と通じて在り得とも觀じ西方とは距離
難と超越し不慮の場所であり極限得土の積累を垣
境理論による影の世界と規定されることを觀せよ

常設展

小林和作記念室

「ほとけのかたち」

7/6 tue ~ 8/1 sun

表紙作品解説

松澤宥(1922-)「浄土論」1994年
シルクスクリーン、紙 各90.0×90.0cm 山口県立美術館蔵

文字が書かれているピンクの紙と、白紙が2枚。ピンクの紙には「この二枚の白紙の一枚を他方世界としてここより西方十萬億土を過ぎて在る浄土と観じ西方とは距離を超越した虚の場所であり猪俣博士の複素電磁場理論による影の世界と道程されることを観ぜよ」と書かれています。

松澤宥は1922年に長野県下諏訪に生まれました。大学で建築を学んだ後、詩を書きながら美術作品も制作ようになります。しかし1964年に夢で「オブジェを消せ」という啓示を受け、以来、絵を描かず彫刻を作らず、ただ言葉(観念)による表現で美術作品を制作しようと試みてきました。ちょうどこの頃、全世界的に同じような傾向(なるべく形やものを作り出さない)の作品が数多く生み出されるようになります。それらは美術史ではコンセプチュアル・アートと呼ばれていますが、松澤宥はその先駆者として世界中の数々の展覧会で作品を発表してきました。

さて、さきほどの言葉。仏教で説かれる「浄土」を、最新の物理学の理論によってどうイメージ化できるか試してごらん下さい、ということが述べられているようです。宗教と科学。相反するかのように見られるふたつの極の間で、私たちの想像力の飛躍が試されています。浄土と虚の世界という空空漠漠とした言葉を投げつけられて、はたして私たちは何をイメージできるのでしょうか?

美術の分野でモノを作ることなく、言葉(観念)だけの表現を試みようとする松澤宥の姿勢には、モノが氾濫する現代の物質文明に対する痛烈な批判を見ることができるとも思いません。

(当館学芸員 斎藤郁夫)

やくし によらい
【薬師如来】

未 巳

【辰】 【卯】



時代に焼失したかつての薬師如来の
四天王。千里眼で世の中を見渡し
E。【日光菩薩】薬師如来の左側が定
從え、薬師如来とその法を守る八

郷土工芸室

「現代の工芸」5/29~7/4

「小さい彫刻たち」7/6~9/26

日本の抽象彫刻のパイオニアで、戦後の下関美術界のリーダー的存在だった植木茂(1913-1984)の木彫などを紹介します。

植木茂
「トルソ」
山口県立美術館蔵

香月泰男室

「宮崎進」5/29~7/4

「中本達也」7/6~9/26

徳山出身の宮崎進(1922-)の油彩と鉛筆による素描、東和町出身の中本達也(1922-73)の油彩、水彩、版画の作品を紹介します。

宮崎進
「小屋」
1967年頃
山口県立美術館蔵

小林和作記念室

「画稿の魅力」5/29~7/4

「ほとけのかたち」7/6~8/1

「絵巻の楽しみ」8/3~9/26

玉村方久斗「竹取物語絵巻」、佐々木縮往「塞外射獵図」などを紹介します。

玉村方久斗
「竹取物語絵巻」(部分)
山口県立美術館蔵

資料展示室

「川田喜久治」5/29~8/1

「東松照明」8/3~9/26

戦争の傷跡を撮った川田喜久治(1933-)「地図」、東松照明(1930-)の「〈11時02分〉NAGASAKI」他を紹介します。

東松照明
「〈11時02分〉NAGASAKI」
山口県立美術館蔵



周防国分寺金堂内部(修理前)

周防国分寺

平成大修理
完成記念

歴史と美術展

防府市にある周防国分寺はおよそ1200年前に創建されました。創建期と同じ場所に建ち、重要文化財の四天王像(平安時代)など数多くの仏像を有しているという点で、周防国分寺はとても珍しく、全国でも貴重な存在です。2004年秋、重要文化財の周防国分寺金堂が修理を終え、美しい姿を披露します。修理中のこの時期だからこそ、貴重な仏像たちを美術館で一堂に拝見することが可能となりました。

「平成大修理完成記念 周防国分寺展」では平安、鎌倉、室町、江戸、それぞれの時代の仏像や仏画が集まる“仏教美術館”周防国分寺の名品と、重源上人像(阿弥陀寺・鎌倉時代)ほか、普段は目にするのできない山口の仏教美術の名品を紹介します。

開館25周年

2004年6月25日(金)ー8月1日(日)

休館日:月曜日(ただし7月19日は開館、7月20日が休館)

【開館時間】9:00-17:00(入館は16:30まで)

【観覧料】一般1000円(800円) 学生800円(600円)

()内は前売りおよび20名以上の団体料金

18歳以下、70歳以上の方、および高等学校、盲・聾・養護学校在籍の方は無料
前売券はローソンチケット(Lコード:64498)、および県内各プレイガイドでお求めください。

【主催】山口県立美術館/周防国分寺/読売新聞西部本社/KRY山口放送/
NHK山口放送局/防府市/山口市/徳地町/秋穂町/小郡町/阿知須町

【協賛】セキスイハイム中国株式会社 山口支社

【特別協力】日本通運/大村印刷株式会社



広目天の邪鬼
立派な眉の邪鬼

こうもくてん
【広目天】

増長天の左手
煩惱を打ち砕く
武器“三鈷杵”



がっこうぼきつ
【月光菩薩】

ぞうちょうてん
【増長天】



じゅうにしんしょう
【十二神将】

仏像紹介【薬師如来】病を癒すだけでなく、私たちの願いを何でもかなえてくれる仏様。胎内からは室町時代に焼失したか員で、北方を守る武神。仏の教えをよく聞いたので、多聞天と呼ばれる。【広目天】西方の守りを受け持つ四天王。千里眼力で五穀豊穡を司る。【持国天】東方の世界を守護する四天王。別名治国天。国を守るガードマン的存在。【日光菩薩】薬のように、煩惱がない姿をあらわしている。【十二神将】薬師如来の守護神たち。それぞれが七千の家来を従え、薬師如来を



【薬師如来】



【日光菩薩】



【多聞天】

多聞天の邪鬼
ちょっと
ひょうきんな表情の
邪鬼に注目



【持国天】

持国天の光背
煩惱を打ち破る
車輪形の武器“輪宝”と
煩惱を焼き尽くす
炎でできた光背

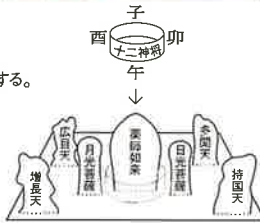


のりしろ

仏像の組み立て方

1. 点線……に沿って切る。
2. 折り曲げて立ち上げる。
3. 【十二神将】はのり付けし、輪にする。
4. 【十二神将】を【午】が正面を向くように【薬師如来】にかぶせる。
5. 完成!!

※はさみ、カッターでケガをしないよう注意しましょう



つての薬師如来の手が発見された。左掌の薬壺からは、珍しいことに本物の穀物、薬草が。【多聞天】仏を守る四天王の一で世の中を見渡し、ときに竜神を率いて悪人を罰する。【増長天】南の方角を守る四天王。無量百千の鬼の主。「増長する師如来の左側が定位置。日の光で煩惱を照らし、仏の叡智を授ける。【月光菩薩】薬師如来の右側に控える。清浄な月の光。その法を守る八万四千の大集団を形成。頭に十二支を一匹ずつ載せ、昼夜十二の時刻を守る。

上記の仏像は全て周防国分寺蔵

関連事業

ギャラリー・トーク

「はなちゃんと見るぶつぞう」

【日時】6月26日(土) 14:00~ 【会場】美術館展示室(要観覧料)
NHK教育テレビ「新日曜美術館」の司会でおなじみのはなさん。モデル、エッセイ連載、コマーシャル出演など幅広い活躍でも知られていますが、昨年は「ちいさいぶつぞうおおいぶつぞう」(東京書籍)を出版して話題となりました。このたびは、本展企画担当学芸員とともに存分に「ぶつぞう」への思いを語っていただきます。



【学芸員によるギャラリー・トーク】

7月4日(日)、7月10日(土)、7月17日(土)、7月25日(日) 14:00~
【会場】美術館展示室(要観覧料)

講演会

「香りの文化史」 講師:畑正高(香老舗松栄堂 代表取締役社長)

【日時】7月3日(土) 14:00~15:30 【会場】美術館講座室

「周防国分寺と大内氏」 講師:國守進(山口県立大学名誉教授)

【日時】7月11日(日) 14:00~ 【会場】美術館講座室

「仏像の見方 一形と時代一」 講師:岩井共二(当館学芸員)

【日時】7月18日(日) 14:00~ 【会場】美術館講座室

ワークショップ

親子で楽しむ国分寺展

「わたしのひかり、あなたのひかり」 講師:鈴木淳(アーティスト)

【日時】7月24日(土) 10:00~15:00 【会場】美術館講座室
【対象】小学校3年生~6年生とその保護者 【定員】20名(先着順)
【申込方法】参加希望者の名前、年齢、住所、電話番号を記入し、往復はがき、またはE-mailでお申し込みください。

大人のためのワークショップ

「かんたん彫銅装飾」 講師:佐伯和章(彫銀作家)



【日時】6月27日(日) 11:00~16:00 【会場】美術館講座室
【対象】高校生以上 【定員】10名(先着順) 【費用】材料などの実費(1000円程度)
【申込方法】参加希望者の名前、年齢、住所、電話番号を記入し、往復はがき、またはE-mailでお申し込みください。

託児サービス

ちびっこルーム(定員制・要予約)

会期中毎木曜日(10:00~13:00)に無料の臨時託児所を用意します。利用する週の月曜日までに電話、またはE-mailでお申し込みください。

ワークショップ・託児サービスの問い合わせと申込先

〒753-0089 山口市亀山町3-1 山口県立美術館普及課
TEL: 083-925-7788 E-mail: a50702@pref.yamaguchi.jp

特別展

常設展

4	4/6~5/23 [開館25周年記念] 没後30年	香月泰男展	—〈私の〉シベリア、そして〈私の〉地球—
5		5/25~5/28	臨時休館
6	6/1~6/6	伝統工芸新作展	
7	6/25~8/1 [開館25周年記念] 平成大修理完成記念	周防国分寺展	—歴史と美術—
9	9/9~9/26 [開館25周年記念] 第8回やまぐち県民文化祭	第58回山口県美術展覧会	
11	11/2~11/23	大きなやきもの	
12	12/7~12/12	第57回学校美術展覧会	
1	1/6~3/13 [開館25周年記念]	ピカソ展	幻のジャクリーズ・コレクション —イメージの変貌

5/29	現代の工芸		
宮崎進	画稿の魅力		川田喜久治
7/4			
7/6		ほとけのかたち	
		8/1	
		8/3	
	小さい彫刻たち		
中本達也	絵巻の楽しみ		東松照明
9/26			
9/28			
古萩の世界	現代のやきもの		
	10/31		
	11/2		
	現代の写真		
	梶本武雄		雪舟と雲谷派
	12/12		11/28
	12/14		
	福田勝治の銀座		
1/30			
2/1			
萩の茶陶			
植木茂			松田正平

Information

■休館日

月曜日(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)
年末年始(12月28日~1月3日)
5月25日~5月28日

■開館時間

9:00~17:00(入館は16:30まで)

■料金

常設展:一般190(160)円 学生120(100)円
()内は20名以上の団体料金

特別展:別途に定めた料金

常設展:特別展とともに18歳以下と70歳以上および高等学校、
盲・聾・養護学校に在学する方等は無料。

教育文化週間11月1日~11月7日は全ての方が無料。

山口県立美術館
The Yamaguchi Prefectural
Museum of Art

〒753-0089
山口市龜山町3-1
TEL:083-925-7788
FAX:083-925-7790

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/kenbi>

